



会長 小林 幹夫 青少年奉仕 橋本八右衛門
 副会長 道尻 誠助 幹事 正部家光彦
 クラブ奉仕 会 計 佐々木泰宏
 会長エレクト 紺野 広 会場監督 峯 正一
 職業奉仕 妻神 和憲 直前会長 小井田和哉
 社会奉仕 地代所久恭 副幹事 松本 剛典
 国際奉仕 中村 稔彦 会計補佐 山村 和芳

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
 事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
 電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
 e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
 http://hachinohe-rotary.org/
 会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 荒谷 達也
 同委員 廣田 茂 同委員 道尻 誠助

国際ロータリーのテーマ — 2022~23 — 八戸ロータリークラブのテーマ

イマジン ロータリー

ロータリーの力を信じよう!

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

八戸ロータリークラブ会長 小林 幹夫

8月は会員増強月間です

第3235回例会 2022.7.20

▶ゲスト 国際ロータリー第2830地区
 ガバナー 田中常浩さん(むつ)
 南グループガバナー補佐
 久保隆明さん(八戸北)
 地区幹事長 藤野芳孝さん(むつ)
 ロータリーの友地区代表委員
 石川佳共子さん(青森)

幹事報告 正部家光彦 幹事



○来週7月26日(火)開催予定の南グループ合同例会は延期となりました。
 ○来週27日(水)の当クラブの例会はありません。

委員会報告

親睦・会場委員会

岡崎孝文委員長



○ニコニコボックスの報告
 田中常浩ガバナー
 藤野芳孝地区幹事長
 石川佳共子ロータリーの友地区代表委員

・誕生祝 永澤 信・小井田和哉・澤藤孝之
 福島哲男さん

・奥様誕生祝 石橋敏文さん

小林幹夫・正部家光彦 } 田中ガバナー、よ
 村井 達・道尻誠助 } うこそいらっし
 石橋信雄・山村和芳さん } いました。

橋本八右衛門さん 協議会で気が引き締まりました。がんばりたいと思います。

会長要件 小林 幹夫 会長



本日はガバナー公式訪問です。本来ならコロナ前なら食事をしながら楽しくガバナーと親睦を深めたいところですが、昨今八戸地域の状況を踏まえてこのようなお弁当の例会となりました。
 わたしが田中ガバナーと初めて会ったのは10年前2012年1月のアクトの翼のときです。わたしはこの事業にたいへん感銘を受けて、当時まだ小学校5年生だったうちの長男を連れて行きました。今やその長男も大学生になりました。きょうは田中ガバナーからアクトの翼の話も出てくると思いますので、楽しみです。

ロータリーの友地区代表委員

石川佳共子さん



ロータリーの友を皆さん購読していただいています。ぜひたくさんの方の活動、さまざまな投稿をお願いすると共に、今回はロータリーの友アーカイブをご紹介します。ロータリーの友ホームページにさまざまな情報がある中で、今回ご紹介したいのは「電子アーカイブ」がこの7月から開設されました。今までのように電子版は7月で終了となっています。

皆さんのクラブへの友の請求書に八戸クラブのIDとパスワードが載っていますが、アーカイブはクラブの方ではないと開示できません。カテゴリーすべては834ページにわたる膨大な量があります。直近では7月号が出たばかりです。ジェニファー・ジョーンズ R I 会長の所信も載っています。

ページ選択をすると今回 P27 にわが地区から田中ガバナーの記事も読めるようになっていきます。性格はせっかち、お人よし、涙もろい。好きなものは吉幾三の曲、演歌。小さい時の夢は消防士。なぜなら小さい頃に大きな火災があったから。とてもホスピタリティーのある幼少期だったのかなということが伺えます。

このようにロータリーの友は読むだけでなく、いろいろ過去の記事も探せるし、活用できる、プリントできるようになりました。

ロータリーの友は今年度70周年を迎えます。1953年第1巻目のロータリーの友です。中身は何とも昭和らしい、創刊号を見ることもできます。創刊号はすべて横書きでした。ロータリーが東京と大阪にできて、その橋渡しとしてできたのがロータリーの友です。何かできるお手伝いがありましたら、いつでもお声をかけていただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

ガバナー講話：田中常浩第2830地区ガバナー

最初にジェニファー・ジョーンズさんの会員の状況、退会に関するちょっとしたビデオ



メッセージをご覧ください。あえて字幕にしました。ジェニファー・ジョーンズさんの生の声を聞いて欲しいということでこういう形にしました。今の R I 会長のメッセージを活字にしてみます。



「入会直後から新会員のニーズと期待を理解することに力を注いでください。クラブに参加したいと願うすべての人が同じぬくもりと帰属意識を感じられるようにすること。会員にとって心地よさと配慮が必要で満足度を高めることが何よりも大切です。これこそがクラブへ積極的参加を促す最強の手段です。

会員には聞くことから始まり、なぜ入会したのかを理解し、ロータリーに何を求めているのかを知る必要があります。ロータリー会員になることで地域社会や世界にどのような影響を与えたいと願っているか。強いクラブを築くために会員のニーズと期待を理解することに力を注ぐべきである。期待が満たされているかどうか常にチェックし、会員がロータリーの体験からもっと多くのことを得られるように何をしてあげられるか考える必要がある。会員との接点を持つことでわたしたちが耳を傾け会員の心地よさと満足度を大切にしていることを知ってもらおう。(退会防止の一つのことです。)

会員がなぜ退会するのか調査することは大事ですが、退会を決めた後では遅いので、調査は早めに実施することが大切だ。会員や新会員の調査も取り入れ、何を求めているか尋ね、その夢をかなえるお手伝いや行動を起こすことが大事です。新しい考え方、知識、想像力を持つ会員と共にわたしたちがもたらせ

るインパクトをクラブで会員への心地よさと配慮を提供する上で大切なもの、それはコミュニケーションです。会員に一連のメッセージを直接お届けすることでロータリーを知ってもらい、退会防止にもつながる。」

ということが先ほどのビデオメッセージでうたわれていたかと思います。ビデオではありませんでしたが、われわれ34人のガバナーは今年オンラインで研修でしたが、よく言われたのはR I会長のいう“DEI”についてでした。**多様性、公平さ、インクルージョン**。どれだけの時間をロータリーに使えるかは人さまざまな時間の使い方があると思います。そしてロータリーに対する評価の違いもあると思います。どんなテーマの奉仕活動に興味があるのか。世界のなのか日本なのか、そして地元の地域社会なのか。行動派か理論派か。仲間と共に行動することを大事にするのか、一人でもできる書物やネットで調べ、その後で行動するのか。**多様性**には職業、年代、性別、ロータリー歴の違いがあると思います。多様性は高潔性を重んじる、他者への思いやり、同じビジョンを持ち奉仕の心で結ばれる。

公平さとは何か。意見を言える。役割がある。必要な情報を得られる。やはり会員の居場所を探してあげる。そして同じ土俵の中で役割を与えられることが大事。

インクルージョン：迎え入れて仲間になること。これは本当にコミュニケーションが一番大事ななと思っています。インクルシブなクラブの実現。日本では多様な会員構成になっているのか。たいへん失礼ですが、八戸ロータリーは女性会員がいないので、その辺はお考えいただければありがたいと思います。年代別を考えても同じ仲間になっているのか。最高齢の方と一番若い会員の方。求めていることの違いはどうか。もし違うのであれば同じ考え同志の新クラブの結成も可能ではないのかと言われていました。インクルシブなクラブ作りは相手の心をイメージすることからスタートします。自分と違うものを大切に思いやりの心、自分と違うものを受け入れる柔軟な心、自分と違うものを学ぶ謙虚

な心が大事なのかという思いでいます。

これはわたしの地区スローガンと目標です。「ロータリアンの思いをつなぐ」をスローガンとしました。2016年に中核的価値観というのが出ましたが、その時から職業奉仕、社会奉仕、親睦を十分大事にしながらやっていきたい。

・**退会防止と会員増強**：先ほどのビデオでも見た通り、ジェニファー・ジョーンズさんは会員基盤の30%を女性会員にしてくださいと話していました。けれども当地区は今現在9%くらいですので、15%を目標にやっていきたいという思いでいます。現在会員数は1,100人ちょっとですので、できれば1,200人にしたいという思いの中で新クラブ結成もしくは衛星クラブ、Eクラブのことも少し考えて欲しいという思いでいます。今コロナ禍の中ではなかなか例会に出席できない方もいますので、デジタル化の推進も大事かと思っています。そして何よりも大事なのはクラブの将来像。3年後5年後、自分のクラブはどうなっているのかをやはり考えて欲しい。

・**アクトの翼**：わたしは長年インターアクトを担当していました。その当時はアクトの翼、3泊4日のホームステイだけで子どもたちが変わります。その変わることを知っているのでおさらアクトの翼を復活させたいという思いでいます。もし復活しましたら、ぜひ1月に参加してくださることをお願いします。

・**公共イメージの向上**：今年もテレビで各クラブの紹介をしたいと思っています。

・**ロータリー賞への挑戦**：クラブの活性化にはロータリー賞への挑戦を掲げたほうが良いと思っています。

・**財団・米山の寄付**：これは毎年同じことですが、これもぜひお願いしたいと思っています。わたしは財団では毎月通帳から引かれるように自動定額寄付をやっていました。この辺はMy Rotaryで見ると簡単にできます。ぜひMy Rotaryに登録いただいて、もしできればやっていただければと思います。たばこは1箱500円以上です。できれば月にたばこ1箱分でもやっていただければという思いでいます。

・**クラブ訪問で確認**：自分のクラブの特徴は

どうなのか。この8つをすべてやればすばらしいのですが、なかなかそうはいきません。その中で1つでも2つでも力を入れてくれれば、自分のクラブはどうなのかを見ていただければたいへんありがたいと思っています。クラブに必要なものは何か。クラブの会員数なのか、女性会員が足りないのか、リーダーシップを発揮する多くの会員が必要なのか。このクラブはリーダーシップを発揮する方がいると思いますのでそれはいいことだと思っています。事務所も固定なので、その辺は心配ないのかと思います。自分のクラブが本当に何が必要なのかをもう一度考え直していただければと思っています。会員に対するアンケート、会員の満足度、クラブの健康チェックなどMy Rotaryにもあると思いますので一度確認ください。

ロータリアンは一人一人が大事だと思っています。ロータリアン一人一人がどう理解するかの問題、自分自身のロータリー感の確立が大事です。何を大事に思ってロータリアンだと思っているのか。ロータリーの第一の目的は心を育てること。つまり人づくりではないかと思っています。ロータリーは人を育て、われわれ自身を育てることだという思いです。

最後に7月1日のガバナー会での話ですが、辰野R I前理事の話の中でSRFという地区の未来形成の話がありました。この名前そのものはもうなくなりましたが、ただパイロット地区は残っています。世界のロータリアンの人口が、会員数がこれ以上減り続けるとR Iも困ると思っているのか、パイロット地区を作って2024年から実施します。そのパイロット地区で会員数が伸びれば今の地区、1

地区の会員数が800人前後で推移されることになっています。たぶん会員は伸びないで、このままいくのではという思いはありますが、R Iではそういうことを考えているようです。

要は日本は108のセッションになって、ガバナー制度もなくなり、セッションリーダーという形でやられるようです。日本は今34地区ありますが、これを108まで分割するということがらしいです。そうならないことを願っています。日本のロータリーはすべてそれを反対していますが、R Iの指示にしたがわなければならないのかなということも頭の片隅にいれなければいけないのかとも思っています。それはさておき、ミラクル1200をわたしも掲げています。一人でも二人でも会員数を増やしていただけることをお願いしたいと思っています。



点鐘：

田中ガバナーはここでいったん退出されます。ご起立の上、大きな拍手でお見送り願います。この後、田中ガバナーのご希望により本日のもようをガバナー頼りに掲載されたいとのことですので、ガバナーと一緒に全体写真を撮ります。後方カーテンの前に椅子を並べますのでテーブル移動などのお手伝いをお願いします。

